

国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」
多摩ニュータウン・ミニシンポジウム
『貝取・豊ヶ丘のこれから』

日時：1月31日（日）午後1:30～3:30（開場：午後1:15）

会場：豊ヶ丘地区市民ホール・2階（第1会議室）

（豊ヶ丘5丁目6番地、豊ヶ丘図書館隣り）

主催：有限会社秋元建築研究所 後援：多摩市

入場
無料

貝取・豊ヶ丘に住む、
住み続ける。



国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」採択事業

多摩ニュータウン
ミニシンポジウム

『貝取・豊ヶ丘のこれから』

日時：1月31日（日）午後1：30～3：30 会場：豊ヶ丘地区市民ホール・2階

主催：有限会社 秋元建築研究所 後援：多摩市

入場無料

（第1会議室）

貝取・豊ヶ丘地区の皆様へ

2013年10月から取り組んできた補助事業ですが、2016年2月で事業期間が終了します。これまでご協力いただき有難うございました。これを機に最終シンポジウムを開催します。

人口減少や少子高齢化で日本の未来は危ぶまれています。多摩ニュータウンは今後も発展し続け、貝取・豊ヶ丘地区も発展します。ただし、そこに住んでいる皆様の努力が必要なのは当然ですが、客観的に多摩ニュータウンが進化することを確信しており、それについて前段でお話したいと思います。

- ・多摩ニュータウンの未来予測は？
- ・貝取・豊ヶ丘地区の30年後は？
- ・当初の計画した家族像が変化した今からは？

そして新たな家族の姿が見えてきます。その一端を担う住まい方を千葉大学大学院の丁先生に引き続きご紹介いただきます。

講演

団地内でシェアしてみませんか

— 居住者・家族・地域がつながる「共助」「共生」暮らし

丁志映

（千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻助教）

数年前にみたTVで団地で暮らすある男性の高齢単身者から「壁と話している」との発言を聞いたときの衝撃は今も忘れられないです。

高齢者が安心して暮らすために「情緒」「経済」「介護」が必要だと言われています。国内外の調査や実践経験からみると、【シェアする暮らし】は、高齢者の寂しさの解消と生きがい、経済的な効果などがあります。また、離れて住む家族にとっては安心感が高まり、地域活性化にも寄与できる可能性があります。皆さんが住んでいる団地で一緒にシェアする暮らしを始めてみませんか。

プロフィール：

日本女子大学大学院博士後期課程修了（2003）

芝浦工業大学大学院・日本女子大学・和洋女子大学（2009-現在）非常勤講師

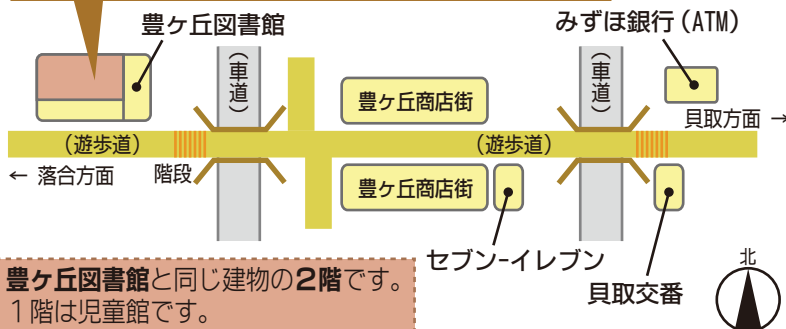
千葉大学大学院工学研究科 2007.9 現職

主に各国のシェアハウスを含めた助け合いハウジング及び住民参加型集住の研究および実践著書に『私たちの住まいと生活』、『現代集合住宅のリ・デザイン - 事例で読む「ひと・時間・空間」の計画』、『フィールドに出かけよう！』、『若者たちに「住まい」を！ - 格差社会の住宅問題』のほか、論文、雑誌への寄稿、テレビ出演多数

研究室HP：<http://jung-lab.tu.chiba-u.ac.jp/>

●会場案内（住所：豊ヶ丘5-6、当日連絡先：090-3965-0178）

豊ヶ丘地区市民ホール・2階（第1会議室）



当シンポジウムに関するお問い合わせは

秋元建築研究所まで

☎337-5600

（受付時間：平日9～17時）

FAX: 337-5599 メール: info@tama-nt.jp

住所：多摩市諏訪1-65-1-103

●国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」について ～ 今後、高齢化等による空き家の増加が見込まれる団地において、住宅の所有者または居住希望者が安心して住宅を賃貸化するためのモデル的な取り組みに対して、国が実施に要する費用の一部を補助しています。私たちは国土交通省住宅局が提唱する当該事業の公募を通じて採択を受け、ニュータウン団地の活性化モデルとなるような総合的な取り組みを進めています。

国土交通省「住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業」
提案事業者

有限会社 秋元建築研究所、特定非営利活動法人 多摩ニュータウン・まちづくり専門家会議
一般社団法人 団地再生支援協会、ロイヤルハウジング株式会社